

医療費分析結果報告書（概要）

- 平成29年度 -

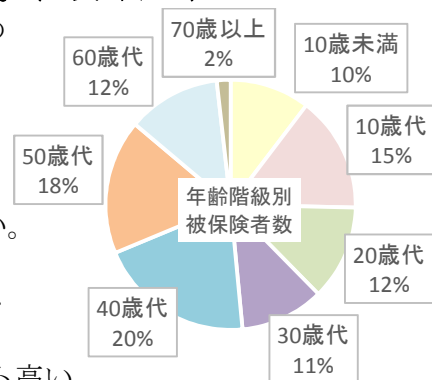
【1 被保険者の状況】

○被保険者数（月平均）は410,776人であり、前年度に比べて0.37%減少したが、組合員数は前年度に引き続き増加し、増加率は1.33%であった。家族数は△2.13%と依然減少が続いている。（1頁表-1）

組合健保は、前年度から被保険者数が+2.26%、被扶養者数が△1.58%である。

○被保険者の年齢階級別割合では、40歳代が20.21%と最も高い。（2頁表-2）

組合健保と比較すると、前年度と同様に45歳以降はすべての年代で全国土木が高くなっている。



○平均年齢は、37.0歳（組合員45.8歳、家族29.4歳）である。（2頁表-3）

組合健保の平均年齢は34.9歳であり、全国土木が2.1歳高い。

○前期高齢者は25,904人であり、前年度に比べて7.22%増加し、加入率は6.31%となっている。（4頁表-4）

組合健保の加入率は3.24%であり、全国土木が3.07ポイント高い。

○扶養率は1.17人で、前年度に比べて3.31%減少している。（5頁表-5、6）

組合健保の扶養率は0.78人であり、組合健保より扶養率が高くなっている理由は、全国土木は組合員の男性割合が86.5%と高いこと及び組合員と同一世帯であれば、収入の多寡にかかわらず家族被保険者となることが主要因である。

【2 医療費の状況】

○総医療費は約737億円であり、前年度に比べて2.50%増加している。診療区分別では、医科入院外が最も多く全体の約4割を占め、組合員・家族別にみると、家族（51.74%）が組合員（48.26%）より3.48ポイント高い。（6頁表-7、7頁図-10）

○1人当たり医療費は、組合員、家族ともに増加傾向であり、前年度に比べて2.88%増加している。また、全ての診療区分において増加傾向にあり、前年度と比較すると次表のとおりである。（8頁表-9、11頁表-11） ※医療費には訪問看護療養費を含む

区分	1人当たり医療費	医科入院	医科入院外	歯科	調剤	(医科入院外+調剤)
平成29年度	179,311円	50,001円	72,744円	20,000円	36,061円	108,805円
平成28年度	174,287円	48,711円	70,720円	19,529円	34,899円	105,619円
増減額	5,024円	1,290円	2,024円	471円	1,162円	3,186円
増減率	2.88%	2.65%	2.86%	2.41%	3.33%	3.02%

○平成28年度の1人当たり医療費では、組合健保との差が22,277円（14.65%）あるが、本人割合、男女割合、年齢構成の影響を取り除くと、その差は3,148円（2.07%）となる。

（9頁表-10） ※比較対象とする組合健保資料の公表時期の関係から平成28年度で比較した。

1人当たり医療費			本人割合、男女割合、年齢構成を揃えた1人当たり医療費		
全国土木	組合健保	差	全国土木	組合健保	差
174,287円	152,010円	22,277円	155,158円	152,010円	3,148円

○ジェネリック医薬品（調剤診療分）の使用割合は、平成30年3月診療分で73.8%となっている。（30頁図-49）

平成29年度の使用割合が100%であった場合、約11.7億円の組合負担額の削減が見込まれる。

【3 疾病の状況】

○疾病分類別に医療費（歯科の疾患を除く）を金額順にみると、入院では組合員は「循環器系の疾患」（24.2億円）、家族は「新生物」（20.7億円）が最も高く、入院外では組合員は「循環器系の疾患」（21.5億円）、家族は「呼吸器系の疾患」（28.5億円）が最も高い。（31頁表-28～35頁表-32）

なお、各区分で金額が最も高い年齢階級と疾病分類は次表のとおりである。

区分	入院			入院外		
	年齢階級	疾病分類	金額	年齢階級	疾病分類	金額
組合員	60歳～64歳	新生物	6.1億円	60歳～64歳	循環器系の疾患	5.5億円
家族	0歳～4歳	周産期に発生した病態	5.8億円	0歳～4歳	呼吸器系の疾患	8.4億円

○疾病分類別に医科診療分医療費の構成割合をみると、①新生物（17.1%）、②循環器系の疾患（14.4%）、③呼吸器系の疾患（10.4%）の順に高い。（36頁図-55）

なお、入院、入院外別の上位3疾患は次表のとおりである。（37頁図-56、38頁図-57）

疾病分類	入院			疾病分類	入院外		
	全国土木	組合健保	差		全国土木	組合健保	差
新生物	24.7%	19.6%	5.1P	呼吸器系の疾患	14.0%	19.1%	△5.1P
循環器系の疾患	19.5%	16.3%	3.2P	新生物	12.2%	8.6%	3.6P
損傷、中毒及びその他の外因の影響	7.9%	7.9%	0P	循環器系の疾患	11.2%	8.4%	2.8P

○平成28年度の前期高齢者の疾病分類別1人当たり医療費は、医科入院では「新生物」（39,799円）が最も高く、医科入院外では「循環器系の疾患」（36,254円）が最も高い。（39頁表-33）

なお、組合健保と比較し全国土木との差が大きい上位3疾患は次表のとおりである。

疾病分類	入院			疾病分類	入院外		
	全国土木	組合健保	差		全国土木	組合健保	差
総数	136,486円	135,040円	1,446円	総数	162,438円	154,528円	7,910円
筋骨格系及び結合組織の疾患	12,753円	10,990円	1,763円	循環器系の疾患	36,254円	30,435円	5,819円
新生物	39,799円	41,476円	△1,677円	内分泌、栄養及び代謝疾患	23,808円	20,714円	3,094円
神経系の疾患	6,682円	5,104円	1,578円	新生物	24,119円	25,617円	△1,498円

○平成28年度の前期高齢者の入院医療費の疾病分類別新三要素分析をみると、100人当たり新規入院件数は「新生物」（4.56件）が最も多く、1入院当たり医療費は「精神及び行動の障害」（2,738千円）が最も高い。（40頁図-59）

なお、各要素において、組合健保と比較し全国土木との差が大きい上位3疾患は次表のとおりである。

疾病分類	100人当たり新規入院件数			疾病分類	平均在院日数		
	全国土木	組合健保	差		全国土木	組合健保	差
新生物	4.56件	4.11件	0.45件	精神及び行動の障害	204日	183日	21日
循環器系の疾患	3.09件	2.65件	0.44件	神経系の疾患	31日	42日	△11日
神経系の疾患	0.66件	0.43件	0.23件	呼吸器系の疾患	15日	18日	△3日
疾病分類	1日当たり医療費			疾病分類	1入院当たり医療費		
	全国土木	組合健保	差		全国土木	組合健保	差
循環器系の疾患	67,803円	74,404円	△6,601円	循環器系の疾患	1,135千円	1,338千円	△203千円
神経系の疾患	32,821円	27,971円	4,850円	神経系の疾患	1,018千円	1,174千円	△156千円
筋骨格系及び結合組織の疾患	53,119円	57,321円	△4,202円	新生物	873千円	1,009千円	△136千円